

ひたちなか市議会だより

コロナに負けない
笑顔はじける運動会

もくじ

No. 115

令和3年7月25日

4月臨時会の概要	2
6月定例会の審議案件の紹介	2
一般質問	2
討論、請願・陳情ほか	9
市民のこえ	10

4月臨時会・6月定例会で 次の案件が提出されました。

4月臨時会 ● 会期：4月28日

4月臨時会は、4月28日に開会し、1日間の会期で開催されました。本臨時会では、市長より、専決処分報告5件（議会の承認が必要な案件のみ）、固定資産税などの還付に要する経費を計上した令和3年度一般会計補正予算（第2号）の議案1件が提出され、いずれも承認および可決しました。

6月定例会 ● 会期：6月10日～6月24日

今回の審議件数は

議案：6件（原案可決 6件）
 ※報告：2件（承認 2件）
 請願：1件（9ページを参照）
 陳情：1件（9ページを参照）
 計：10件

今号ではこの中から3つを左に掲載します。

※報告は議会の承認が必要な案件のみ記載
 ○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第78号〉 令和3年度ひたちなか市一般会計補正予算（第4号）

『緊急中小企業等事業継続支援金』
 令和3年1月～6月の売り上げが前年もしくは前々年同期比20%以上減少している中小企業などへ支援金を支給します。

『小・中・義務教育学校女性用品購入費』
 女子児童・生徒が心や体の悩みを含め養護教諭などに相談しやすい環境整備の一環として、各学校の保健室などに生理用品を備え、必要な時に利用できるようにします。

『小・中・義務教育学校感染症対策』
 感染症対策のための消毒液などの消耗品および大型掲示装置を購入し、市内小・中・義務教育学校の全学級に設置します。それに伴い不足する電源設備工事を実施します。

一 般 質 問

市の事業などについて、
 執行状況または将来の方針、
 課題などを議員が直接質問しました。



市ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



質問者



- | | |
|----------|----|
| ① 山田 恵子 | 議員 |
| ② 加藤 恭子 | 議員 |
| ③ 大内 健寿 | 議員 |
| ④ 山形 由美 | 議員 |
| ⑤ 宇田 貴子 | 議員 |
| ⑥ 萩原 健 | 議員 |
| ⑦ 海野 富男 | 議員 |
| ⑧ 清水 立雄 | 議員 |
| ⑨ 薄井 宏安 | 議員 |
| ⑩ 樋之口 英嗣 | 議員 |
| ⑪ 井坂 涼子 | 議員 |
| ⑫ 清水 健司 | 議員 |
| ⑬ 鈴木 道生 | 議員 |
| ⑭ 大久保 清美 | 議員 |
| ⑮ 弓削 仁 | 議員 |
| ⑯ 井坂 章 | 議員 |

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。



予診票など送付物の見本

● 新型コロナウイルスワクチン接種について

問 65歳以上の高齢者の接種券発送にあたり、予診票の同封がされていなかった。予診票を事前に配布することで、会場での記入時間が短縮され、接種率の向上にもつながると考えるが、いかがか。

福祉部長 予診票の同封を検討したが、印刷や封入作業に時間を要するため、発送時期に遅れを生じさせてしまうことから、接種券との同封を見送ることにした。代わりに、個別接種を行う医療機関には、あらかじめ必要数を送付している。今後、送付予定の64歳以下の方には、接種券の発送の際に、より効率的な対応が取れるよう、予診票を同封していく。

● 認知症施策の推進について

問 令和3年度から3年間を計画期間とする「第8期高齢者福祉計画および介護保険事業計画」がスタートした。認知症の理解促進を図るため、新たに取り組む事業について伺う。

福祉部長 さらなる認知症の理解促進を図るため、筑波大学附属病院の若年性認知症支援コーディネーターの協力を得て、認知症の方が自らの体験や希望などを発信できる場となる「本人ミーティング【※】」を8月に開催する予定である。今後、認知症への理解を深めるための普及啓発に努め、認知症になっても希望を持って暮らすことができる地域づくりを推進していく。

用語解説

【※】本人ミーティング

認知症である本人同士が集まり、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、今後の自分たちのより良い暮らしや暮らしやすい地域の在り方を話し合う場。



● 英語が話せる子どもの育成について

問 英語が話せる子どもたちを育てることを目標に、英語教育に関する特別な教育課程を編成し、小学1年生から英語活動を実施している自治体がある。本市においても取り組むのはどうか。

教育長 今年度より「ひたちなか市外国語・英語教育推進事業」を立ち上げ、早期からの外国語・英語教育に力を注いでおり、小学校1、2年生を対象に、AETによる英語に親しむ活動を開始したところである。今後、早期から外国語や異文化を体験する機会を積み重ねることで、グローバル社会においてもたくましく生き抜くことができるような子どもの育成に努めていく。

● 「生理の貧困」の支援について

問 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、生活困窮が深刻化する女性が増加し、生理用品を購入できない「生理の貧困」が問題となっている。本市としてどのような支援を考えているのか伺う。

教育長 思春期の児童生徒が安心して学校生活を楽しく笑顔で過ごせるよう「ほっとスマイルプロジェクト」と称して、生理用品を学校の保健室に十分に常備できるように支援していく。また、貧困、ネグレクト【※】支援対策として、養護教諭などから直接生理用品を配布することにより早期発見に努め、必要に応じて福祉などの関係部署につなげられるよう体制整備を図っていく。

用語解説

【※】ネグレクト

幼児・児童・高齢者・障がい者などの社会的弱者に対し、その保護・教育義務を果たさず放任する行為のこと。



● 死亡後の手続きのワンストップ窓口の開設について

問 手続きには、必要書類の不備など何度も繰り返すことになり、負担が生じてしまうため丁寧な説明が必要である。自治体の窓口はセーフティネットの役割を担い、職員の寄り添ったケアが必要だと思いが、見解を伺う。

総務部長 死亡に伴って必要となる手続きを、あらかじめインターネット上で調べることができる「手続きガイド」を導入した。手続きを手戻りなく進めるためには、事前に手続きの概要と来庁時に必要な持ち物を漏れなく認識してもらうことが重要であると考える。おくやみコーナーの設置は、「手続きガイド」の導入成果を検証しながら、継続して調査・検討を進めていく。

◀ 次ページに続く

③ 大内 健寿 議員

● 高齢者へのデジタル支援について

問 ワクチン接種の予約の問題、
巧妙な詐欺など高齢者のネット
トラブルが急増中である。高齢
者向けデジタル講座の重要性な
ど高齢者へのデジタル支援が急
務と思われるが、その取り組み
を伺う。

企画部長 ワクチン接種の予約は、
職員が「予約お助け隊」として手
続きを支援する体制を整えた。ま
た、「ITサポートセンター」では、「は
じめてのスマートフォン講座」な
どIT基礎講座も定期的に開催し
ており、受講者の約9割が60歳以
上である。こうした事業を今後も
継続していくことで、一人でも多
くの市民がデジタル化の利便性を
活用することができるよう努めて
いく。



ワークプラザ内の
ITサポートセンター

④ 山形 由美子 議員

● 避難計画の実効性は確保できるか



問 東海第二の避難計画について、
できていない市町村に作成を急
がせる働きかけなどないか。避
難計画は実効性がない限り、事
前了解はしないことを首長懇談
会で明確にすべきと考えるが、
いかがか。

市民生活部長 本市において、広域
避難計画の作成を急がせる国、県
などからの働きかけはない。

市長 東海第一原発の再稼働につ
いては、市民の安全・生活を最優先
に極めて慎重に判断すべき問題で
あり、実効性のある避難計画を含
め、市民の安全が確保されない限
り再稼働はできないものと認識し
ている。

⑤ 宇田 貴子 議員

● 高齢者が安心して暮らせる施策を

問 4月にスタートした新緊急通
報システムについて、高齢者の
安心を生むために、身体の状態
などに制限を設けず、ひとり暮
らしの高齢者が広く利用できる
ようにすべきではないか。

福祉部長 利用対象者については、
これまで70歳以上のひとり暮らし
高齢者で、要介護認定を受けてい
る方、重度疾病のある方などとし
ていたが、対象範囲を拡大し、身
体の虚弱な方、疾病のある方など
とした。さらに利用者や利用希望
者のご意見を伺いながら、システ
ムがよりよいものとなるよう検証
するとともに、事業の周知を行い、
高齢者が安心して生活できるよ
う、利用促進を図っていく。



令和3年4月から運用されている
緊急通報システム

● 読み書きが困難な子どもに適切な支援を

問 発達性ディスレクシア（読み
書き障がい）は、小学校入学後
学習上の困難さが顕著になるが、
「頑張ればできる」「勉強が苦手」
と見過ごされがちである。本市
での取り組みについて伺う。

● 国民健康保険を真に命を守る砦に



問 国保加入者は低所得者や無職
の方、高齢者が多いにも関わら
ず、他の被用者保険に比べ所得
に対する税負担が重い。国保が
真に社会保障として機能するた
めの、市の考えを伺う。

福祉部長 令和4年度から賦課方式
を変更し、所得割と均等割の2方
式を目指すことで、増えている高
齢者ひとり世帯の負担が軽減される
と考える。

市長 国民健康保険は、国民皆保
険の基盤となる制度であり、社会保
障の根幹をなすものであると認識
している。誰もが安心して医療を
受けられることが、国民健康保
険の本来の役割であると考えている。

● 読み書きが困難な子どもに適切な支援を

教育長 特別支援教育研究推進員
が、発達性読み書き障がいに関す
る専門的な知識をもっており、市
内各小中学校を巡回し、教員に対
し、指導についての助言を行って
いる。今年度「中核的教員養成プ
ログラム」を実施する予定となっ
ており、教職員が発達性読み書き
障がいについてより理解し、担任
などと連携した児童生徒の早期把
握や効果的な指導が可能になると
考えている。





● 公共施設のLED化について

問 LED化の現状について伺う。
また本庁全体をLED化した場合の年間の温室効果ガス削減量、電気使用料金削減額の試算、本庁全体をLED化する具体的な計画はあるのか伺う。

総務部長 本庁舎全体の蛍光灯をLED器具に変えた場合、温室効果ガスは103ト、電気使用料金は約450万円削減される見込みである。しかし、本庁舎全体のLED化については、多額の初期投資額が必要であるため、他市町村における先行事例などを研究しながら、最小の投資で最大の効果が得られるよう、早期の導入に向けた取り組みを進めている。

● 公用車の次世代自動車導入について

問 公用車の総所有台数、次世代自動車の所有台数を伺う。二酸化炭素排出削減のためには次世代自動車への切り換えが必要となってくるが、新規導入に向けての計画について伺う。

総務部長 公用車の台数は発注分を含めると219台で、次世代自動車は11台である。「第3次エコオフィス計画」では、公用車使用に伴う温室効果ガス総排出量を2030年度までに2013年度比で約28%削減することを長期目標と定めている。目標達成に向けて、電気自動車や、電気とガソリンを併用するプラグインハイブリッド車の早期導入について検討を進めている。



市が所有するハイブリッドカー



中丸川氾濫の様子

● 水田への浸水被害対象河川について

問 中丸川、大川、本郷川については、毎年、1時間当たり30ミリ程度の降水量で、水田への越水が始まる。これにより水稻の病気、黄化萎縮病やいもち病の発生が懸念されるが、河川改修の状況を伺う。

建設部長 中丸川改修は、中根地先などにおいて排水樋管工事を行っており、完成次第、道栄橋下流から大川合流点までの河川改修工事を行う予定と伺っている。大川改修工事は、無名橋の下部工事を今年度実施する予定であり、その後、無名橋の上部工事と八幡橋の架け替えおよび未改修区間の整備を進めていく。本郷川は、一級河川指定区間である下流部の早期改修を機会あるごとに県に要望していく。

● 小学校で始まった教科担任制とは

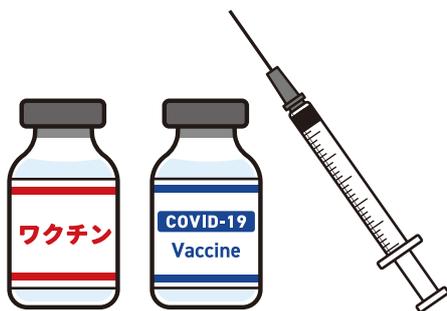
問 県教育委員会は、4月から県内全公立小・義務教育学校469校で教科担任制を導入した。小学生の高学年が対象となるが、教科担任制の期待する成果を伺う。

教育長 教科担任制の効果は、専門性の高い授業が展開され、意欲的に学習する環境が整い、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上が図られると考える。複数の教員が関わることで、多面的な児童理解を通じた児童の心の安定につながることも考えられる。また、教員の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校の教育活動の充実や教師の負担軽減の一助にもなるかと捉えている。



● 新型コロナウイルス感染症対策について

問 60歳未満の市民の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種計画を見通しのつく範囲で伺う。



福祉部長 市の今後の接種計画については、60歳から64歳の方には6月末に接種券を送付し、同時期に59歳以下の基礎疾患を有する方には、市に申請することにより接種券を発行できるように調整しているところである。59歳以下の方の接種券送付については、年齢を5歳もしくは10歳刻みに分けることを検討している。発送時期については、60歳から64歳の予約状況を見極めながら、ひたひたなか市医師会と調整し順次発送していく。

◀ 次ページに続く

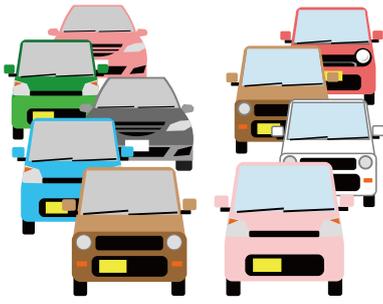
⑧ 清水 立雄 議員

● 市毛交差点の渋滞解消について

問 国道6号と交差する県道那珂湊那珂線では、交差点付近で慢性的な渋滞が発生しており、早期の対策が求められている。この問題をどう解決するのか伺う。

市長 市毛交差点東側の西行き車線には直進レーンと右折レーンしなく、直進車と左折車が同一レーンに並ぶため、6号を横断しようとする人がいると左折車が進めず、これにより直進車も進めなくなることから、渋滞を助長している状況が見受けられる。そのため、左折レーンを増設することで渋滞の緩和が図られるものと考えている。

効率的で効果が見込まれる左折レーンの増設について、引き続き県に要望していく。



⑨ 薄井 宏安 議員

● 高齢者などのごみ出し支援の現状は



問 高齢化社会や核家族化の進展に伴い、高齢者のみの世帯が増加しており、家からの日々のごみ出しに課題を抱えている高齢者などへの支援が社会問題となっているが、本市の見解と現状について伺う。

福祉部長 ごみ出し支援を含めた高齢者などの生活支援として、介護保険制度による訪問介護、シルバー人材センターによるシルバーお助け隊事業、社会福祉協議会によるファミリーサポートセンター事業を行っている。今後、日常生活を支援する取り組みを市報や市ホームページで周知し、利用促進を図っていく。また、全国の先進地事例を検証し、地域の機運を高める支援について検討していきたい。

⑩ 樋之口 英嗣 議員

● 美乃浜学園駅の砂塵【※】や強風への対策を

問 美乃浜学園駅は、周囲に風をさえぎる建物や樹木もなく、砂塵や風の影響を直接受けやすい所である。児童生徒が砂塵や風の影響を受けないよう何らかの対応策を講じるべきであるが、見解を伺う。

教育次長 登校時は、児童生徒が安全かつ速やかに学校に到着できるよう教職員が同行している。下校時は、児童生徒が列車到着時刻の5分から10分前に学校を出発するように指導を行っている。美乃浜学園駅を利用した通学については、引き続き児童生徒の安全確保を最優先に、学校や保護者、ひたひたな海浜鉄道と連携しながら対応を進めていきたい。

用語解説 【※】砂塵 強い風によって地表面にある砂などが空気中に舞い上がることをいよめる砂ぼこり。



● 企業誘致のための用地確保について



問 後期基本計画では、企業の新規立地や、市内立地企業の拡張・移転に対応するため「新たな工業用地の確保に努めます」とあるが、工業用地の確保について進捗状況を伺う。

経済環境部長 「新光明106番の2」を活用し、工業団地の造成を検討している。事業用地は財務省が所管する国有地であり、工業団地の造成を目的に取得する場合は、一般競争入札による処分が行われることから、一般競争入札が早期に実施され、民間ディベロッパーによる工業団地造成事業が実現されるよう、関係機関と必要となる調整を行っている。

● 新中央図書館建設について

問 文化施設（図書館）はシビックプライドである。当市の中央図書館は47年経ち老朽化している。新中央図書館の新築は喫緊の課題であるが、その進捗状況を伺う。

教育次長 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しさを増す市の財政状況や、社会情勢の急激な変化などから、施設規模や整備コストなど、整備計画を見直す必要が生じている。また、社会のICT化の急速な進展など、検討課題が増えたため、これからの時代を見据えた図書館機能について、有識者や市民の方からも意見を伺いながら、整備検討を進めている。



現在の中央図書館



● 保育園への入所選考基準について

問 疾病・障がいを持つ保護者の皆さまが働こうとした際に、現状の基準数値のみの加点は不利になってしまう現状を、本市として社会進出しやすいよう補正指数を見直す必要があると考えますが、見解を伺う。

福祉部長 近年、障がいの者の雇用が進み、障がいを持ちながら働き育てをする方は増えてきており、市としては、障がいがあっても子育てをしながら働いている方の気持ちを支え、選考基準表の見直しに取り組んでいく。

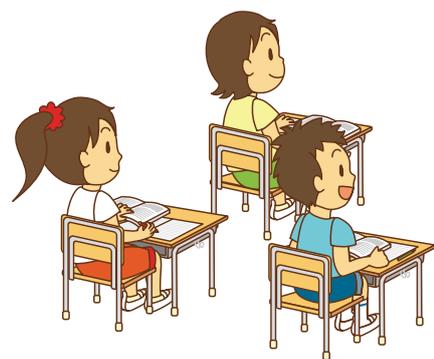
今後、他市町村の事例を集め、加点の基準や公平性の確保などの課題を整理した上で、本年10月に配布予定の「令和4年度入所案内」に間に合うよう準備していく。

● 2学期制による課題と展望について

問 今年度も2学期制を実施した経緯を伺う。また、受験を控えている中学生にとって、2学期制が不利になることがないのか心配の声もあるが、受験への影響がないのか、見解を伺う。

教育長 全国的に新型コロナウイルス感染症の収束の見通しを持つことが難しい現況であることから、再度の臨時休業措置が取られた場合を想定し、授業時数の確保や教育活動の充実を図るため、今年度の措置として2学期制を導入した。

受験への影響については、県立高校は学年末の評価が採用されるので、学期制の違いによる影響は考えにくいと認識している。



● 暮らしと健康を守るワクチン接種事業

問 人員の配置などを含め、本市の新型コロナウイルスワクチン接種対策担当の体制は現状として十分と捉えているのか。より体制を強化する必要があるのではないかと、市長の見解を伺う。

市長 これまでワクチン接種担当チームの拡充を図ってきたが、度重なる方針の転向や新たな職域接種の課題など、今後さまざまな業務量が予想される。現在も全庁的に流動体制で人員を確保しているが、必要であれば人員の確保を今後全庁的な課題として取り組んでいきたいと考えている。いずれにしても、市民に安全でスムーズな接種環境を提供していきたい。

● 佐和駅東口周辺地区の環境整備について

問 佐和駅東口開設に向け事業が進む中、常葉台地区や小貫山地区などから佐和駅東口への経路として、県道瓜連馬渡線を横断する際の安全対策を求めてきたが、その後の検討状況を伺う。

都市整備部長 県道瓜連馬渡線を横断する際の安全対策については、湊街道踏切付近への横断歩道設置に向けて茨城県警と協議を行っている。今年度は、現地立会いを実施の上、横断歩道の設置位置や、課題となっている横断待ちのたまり空間の確保など、より具体的な協議を進めていきたいと考えている。



佐和駅東口の完成予想図



● デジタル化への取り組みをわかりやすく

問 技術革新によりデジタル化が進んでいる。「誰一人取り残さない」一人一人の幸せを実現する手段として活用するためには市民の理解も不可欠である。本市での取り組みを見える化し広報を求めたいが、いかがか。

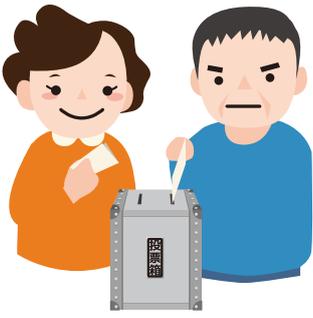
企画部長 行政のデジタル化に関しては、市民に身近な事例やわかりやすい言葉に置き換えて、市の取り組みや具体的な効果、正確な情報などをしっかりと伝えるとともに、市民がどういった点に不便を感じ、また改善してほしいと考えているかといった、サービスを受ける市民の声もくみ取っていくことにも努力しながら、デジタル化を推進していきたい。

◀ 次ページに続く

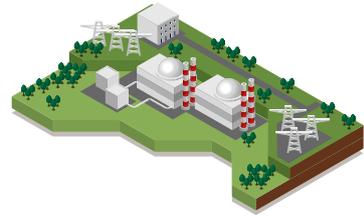
● 期日前投票所の増設は

問 昨今の投票率は低下傾向にあるが、投票総数における期日前投票の割合は増加傾向にある。投票環境を整備し、市民の投票機会を増やすために、期日前投票所を今後増設することはいかがか。

選挙管理委員長 現在、期日前投票所の増設について検討しているところであり、開設場所は、ひたちなか地区内の商業施設が有力な候補の1つである。多くの市民が訪れる場所であり、親子連れの投票による主権者教育や選挙啓発などが期待されるとともに、投票率の低い20歳代から40歳代の投票率向上が見込まれ、本市全体の投票率の向上にもつながることが期待される。



● 東海第二原発の運転差し止め判決



問 3月18日、水戸地裁にて「東海第二原発を運転してはならない」との判決がでた。実効性ある避難計画などが不備であり、人格権侵害の具体的危険があるとの理由。この判決に対する市長の見解を問う。

市長 避難計画が水戸地裁の判決の論点の1つとなったことから、実効性のある避難計画とするため、山積している課題の1つ1つに対して、しっかりと対策・対応を考え、検証していくことが必要であると考えている。引き続き、実効性のある避難計画の策定に向け、国、県、関係自治体と情報共有を密にし、市民の安全確保を最優先として、避難計画の策定に取り組んでいく。

● ロック・イン・ジャパン・フェス

問 今年8月、ひたち海浜公園にて標記フェスティバルが2年ぶりに開催予定である。主催者は入場制限など感染症対策を徹底することのだが、不安は残る。勝田駅周辺など、市中での感染防止対策を問う。



ロックインジャパン2019 設置モニュメント

経済環境部長 主催者と、市やJR、茨城交通、ひたちなか海浜鉄道、警察、商工会議所、青年会議所などが連携して、交通整理や誘導を例年以上に強化することで、来場する方の密集を回避するとともに、一般の駅利用者との混在を防ぐ対策を実施したいと考えている。加えて、勝田駅から会場までのシャトルバスの利用についても、現在、主催者と運行会社において、密集回避策について検討を重ねている。

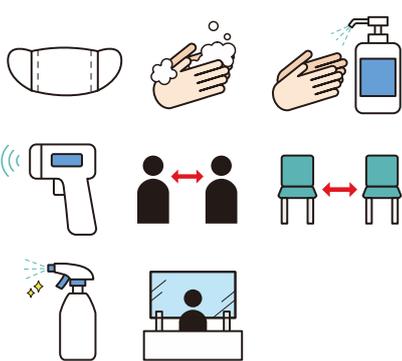
問 茨城県知事選挙、衆議院議員選挙を控えるが、選挙人をはじめ関係者が安心して選挙に臨めるようどのような対策を行うか、混雑状況を含め、どのように周知するか伺う。

● 学校配布物に関する規則などについて

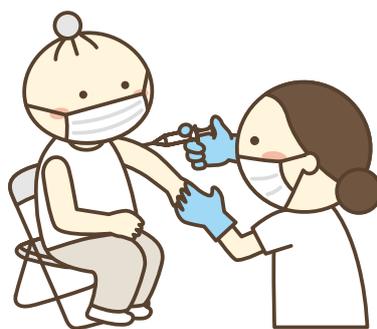


問 昨年12月の小学校での情報誌配布への対応を機に検討するとされた「学校での文書などの配布に関するガイドラインなどの作成」について、検討状況とその内容について伺う。

教育長 教育委員会でチラシなどの配布物の内容を事前に確認し、児童生徒全員に配布の必要があるか校長会とともに検討している。全員配布の必要性が低い物は、昇降口などに置いて自由に持っていきける配慮を学校にお願いしている。全児童生徒に必要な配布物の判断基準や配布依頼の手続きなどは、市校長会などからも意見を聞きながら指針として取りまとめ、学校へ示していく。



総務部長 期日前投票所の感染防止対策として、事務従事者はマスク、ビニール手袋を着用し、受付に飛沫感染防止のシールドを設置して、定期的に換気や消毒などを行っていく。また、選挙人には、選挙広報や市報などを通じて、事前に投票所での感染症対策や、有権者が多い投票所の密を避けるため、期日前投票期間中の空いている時間帯などを周知し、当日投票の分散につなげていきたい。



● コロナワクチン接種について

問 65歳以上の高齢者への接種が進んでいる。今後の若い世代への接種の見通しと職域接種についての考えを伺う。

福祉部長 60歳から64歳の方には6月末に接種券を送付する。同時期に基礎疾患を有する方にも市に申請することにより接種券を発行できるように現在調整をしている。

職域接種については、接種の加速に賛同する企業や大学などを対象とし、接種に必要となる会場や医療従事者などは企業や大学などが自ら確保することとされている。必要に応じ事業所の相談に応じるなど、効率的な連携を図っていきたいと考えている。

● トリチウム汚染水の海洋放出の影響は

問 トリチウムが除却できないまま、2年後海洋放出すると政府と東電は言っている。風評被害が起き、水産業・農業・旅館などへの悪影響が出ることになる。市の考えと対処について伺う。

経済環境部長 漁業を取り巻く風評被害の影響は、少なからずあると考えている。処理水の海洋放出は、特定海域への放出であることから、市内農業などへの風評被害の影響は少ないと考えられる。しかし、風評被害は安全性が確認されている場合でも発生する可能性があることから、国および東電は、国民、あるいは諸外国から理解を得られるよう丁寧に説明する必要があると考えている。



討論 debate

6月定例会の議案および請願・陳情について、採決に先立ち次のような討論が行われました。

議案に対する討論

● 反対

議案第76号 あらたに生じた土地の確認についておよび議案第77号 字の区域の変更について、環境を破壊する大型開発を中止し、教育や福祉など、市民生活に役立つ公共事業に転換することを求める。以上、反対討論とする。

請願・陳情に対する討論

● 賛成

請願第18号 「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求めることについて、医療従事者などに対し、医療体制強化のための財政処置を国に求めることが議会の責任である。以上、賛成討論とする。

閉会中の常任委員会活動

総務生活委員会

○4月22日

鹿島港湾空港整備事務所茨城港出張所において、担当者から茨城港常陸那珂港区の概要について、説明を受け、船上視察を行いました。

文教福祉委員会

○4月14日

ひたちなか市新型コロナウイルスワクチン集団接種シミュレーションについて、現地調査を行い、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

○5月31日

新型コロナウイルスワクチン接種の現状について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

経済建設委員会

○4月20日

経済環境部が団体などへ支出している補助金などについて、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

○5月21日

建設部および都市整備部が団体などへ支出している負担金について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

不採択となったもの

- ▽気候変動対策に関することについて
- ▽「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求めることについて

永年勤続表彰



打越 浩

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会から25年以上市議会議員の職にある者として、打越浩議員が表彰されました。打越浩議員は議長のほか予算委員長などを歴任されています。

市民のこえ

hitachinaka

多様で緩やかなつながりから

馬渡

小川 久美子さん

小学校のPTA活動の中で多くを学んでいます。「つなぐ・つなげる・つながる」という学校理念のもと、縦・横・斜めのつながりの広がりを感じます。価値観の共有を基に、子どもの夢基金の創設、ほたるの森再生プロジェクト、学校図書の選書の一部を児童に任せるなど、新たな取り組みも進んでいます。子どもも大人も共に楽しく学び合える場である学校は、輝きと可能性を秘めた宝石箱のようです。



コロナ禍での散歩

館山

枝川 重樹さん

コロナ禍の現在、運動不足のために近所を散歩したりするのですが、田園風景や都会にはない、いつもは車で通り過ぎてしまっさまさまな風景がひたひたなか市には多く、景色を眺めながらの散歩はとても心が癒されます。また、市内には虎塚古墳をはじめとする貴重な地域財産・文化財産が点在しており、歩く会なども行われているようです。これからも街の宝物を探しながら散歩を楽しんでいきます。



次回9月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/22	23	24	25	26	27	28
			講義・陳情締切の 正午まで	定例会告示 議会運営委員会		
29	30	31	9/1	2	3	4
				本会議 (開会)		
5	6	7	8	9	10	11
	(議案調査)	(議案調査)	(議案調査)	本会議 (一般質問)	本会議 (聴取・質疑・答復)	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 (予備日)	予算委員会	3常任委員会	決算委員会	決算委員会	
19	20	21	22	23	24	25
		決算委員会	決算委員会 (予備日)		決算委員会	
26	27	28	29	30	10/1	2
	(事務整理)	本会議 (閉会)				

議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

(273-0111内線4211)

本会議の開始時間は、午前10時です。

(日程が変更になる場合もあります)

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、感染症対策などをお願いする場合があります。

ひたちなか市議会／ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



編集
手帳

新型コロナウイルス感染症収束の切り札といわれるワクチン接種がようやく軌道に乗りはじめ、1年以上続く自粛生活に出口が見えてきました。それでも、まだまだ感染対策の手は抜けません。市民の皆さまが、1日も早く安心し希望の持てる日常を取り戻せるよう、議会としても全力を尽くす決意です。また、必要な情報がわかりやすく迅速に皆さまに届くよう、議会だよりとともに議会ホームページの改善にも取り組んでまいります。……………(宇田 貴子 記)



再生紙と植物油インキを使用しています。